

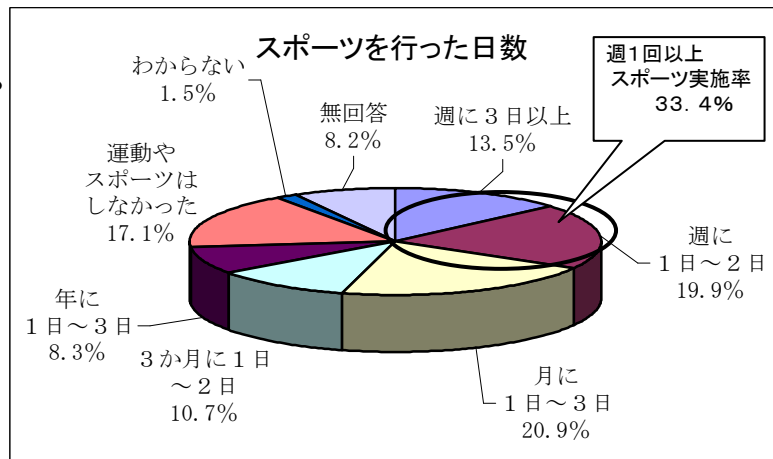
(参考) スポーツ活動の実態とスポーツに関する意識

市民のみなさんのスポーツ実施状況やスポーツに関する意識の調査を目的に、平成15年度は、市政世論調査と市民意識調査を活用し、スポーツに関する調査を実施しました。また、平成16年度には、スポーツに関する市民アンケートモニター意識調査、市民の皆さんとの教育懇談会を実施しました。

▶スポーツをしたいのにできない人が57.5%

●宇都宮市民のスポーツ実施率は？

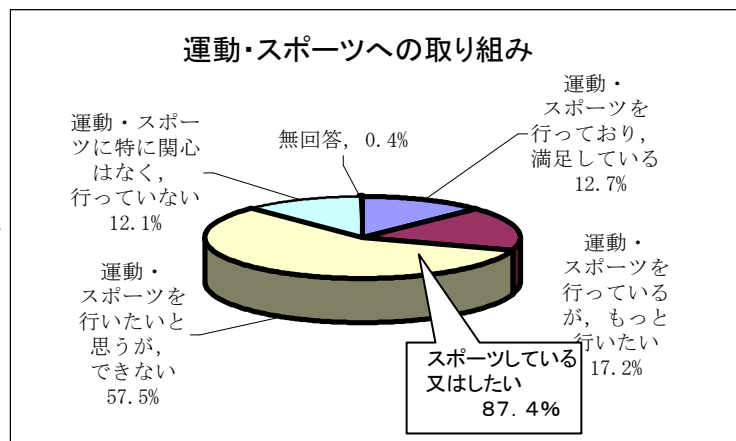
・宇都宮市では、成人の33.4%が、週1回スポーツ活動をしています。これは、全国の平均並で、平成11年度に本市で実施した同調査結果(33.3%)とほぼ横ばいとなっています。



(平成15年度市政世論調査)

●宇都宮市民はスポーツしたい？

・「運動・スポーツを行いたいと思うができない」(57.5%)という方が半数を超えています。が、「運動・スポーツを行っており満足している」(12.7%)と「行っているが、もっと行いたい」(17.2%)を合わせると、87.4%の方が、スポーツ活動への意向をもってしています。



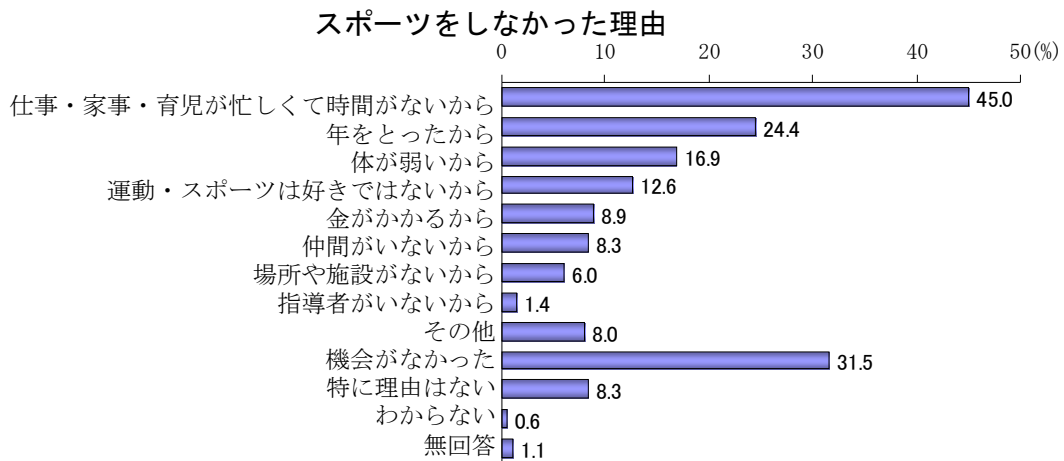
(平成15年度市民意識調査)

👉 多くの人がスポーツをしたいと思いつながら、思うようにできないのが実態のようです。みなさんのスポーツができない要因が解決できれば、多くの方がスポーツに親しめるようになることが期待されます。

▶自らが主体的に時間を生み出す「心」， 気軽に参加でき，楽しさを感じる多様なスポーツ「機会」

●スポーツをしなかった理由

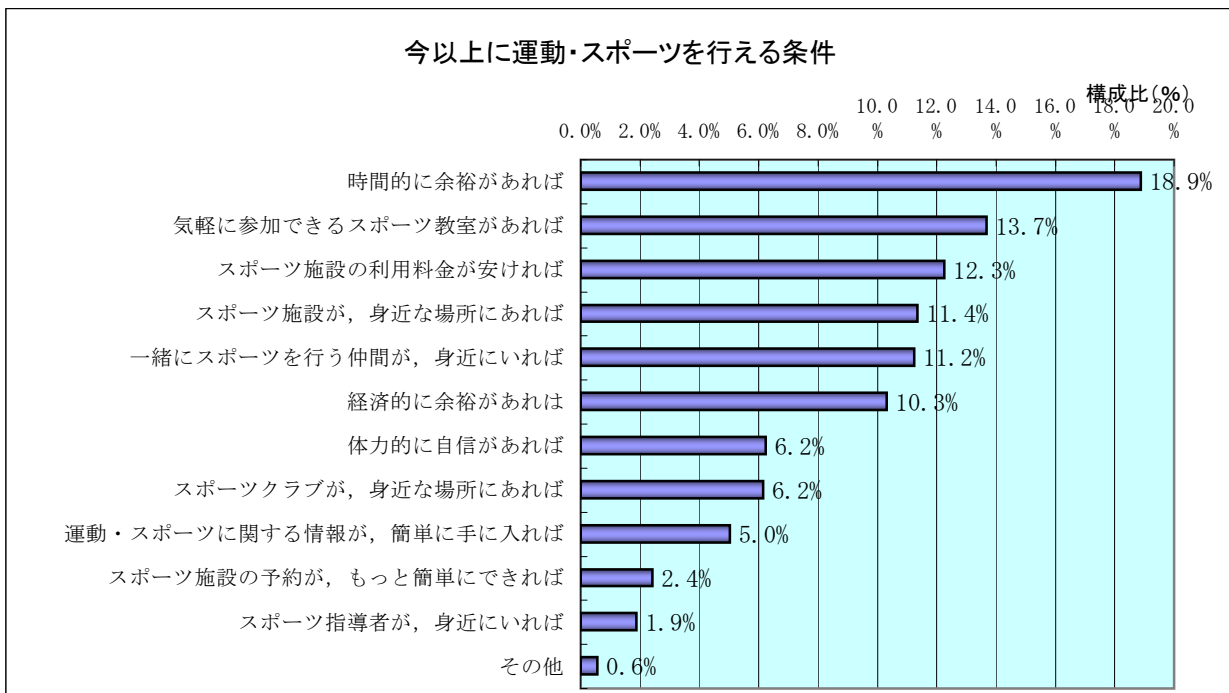
・「スポーツをしなかった理由」としては，「仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから」（45.0%），「機会がなかった」（31.5%）の2項目が7割を超えています。



（平成15年度市政世論調査）

●今以上にスポーツを行える条件

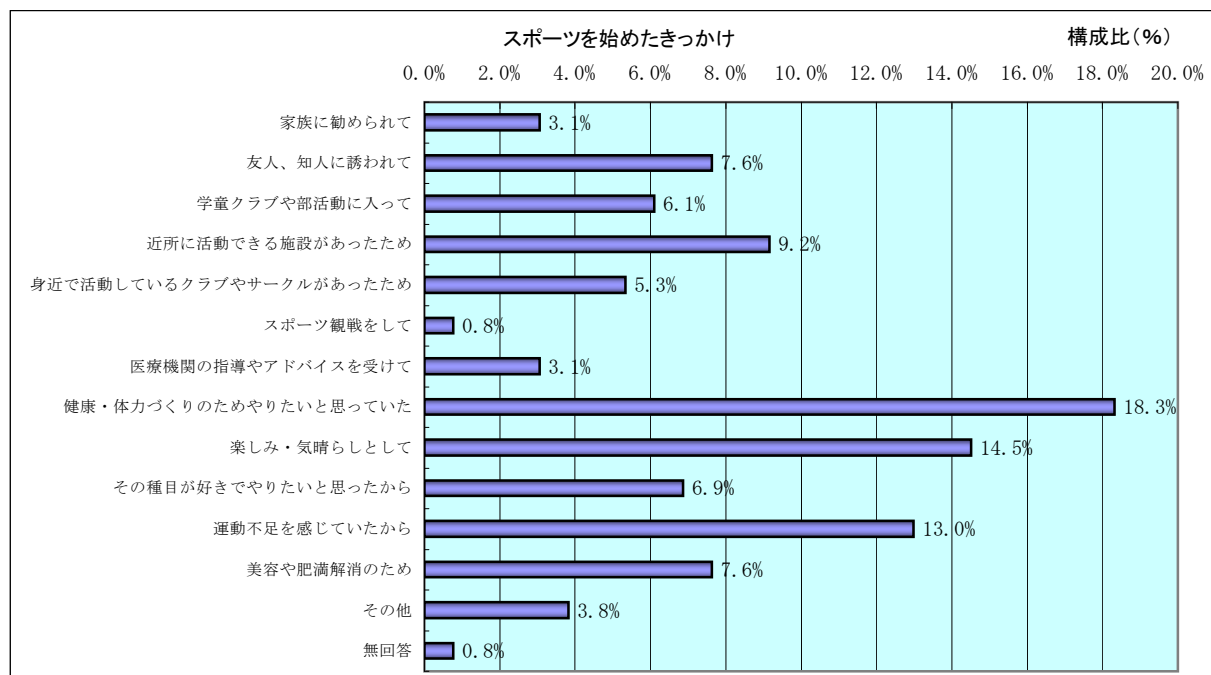
・「時間的な余裕があれば」（18.9%）が最も多く，次いで「気軽に参加できるスポーツ教室があれば」（13.7%），「スポーツ施設の利用料金が安ければ」（12.3%），「スポーツ施設が身近な場所にあれば」（11.4%），「仲間が身近にいれば」（11.2%）と続きます。



（平成15年度市民意識調査）

●スポーツを始めたきっかけ

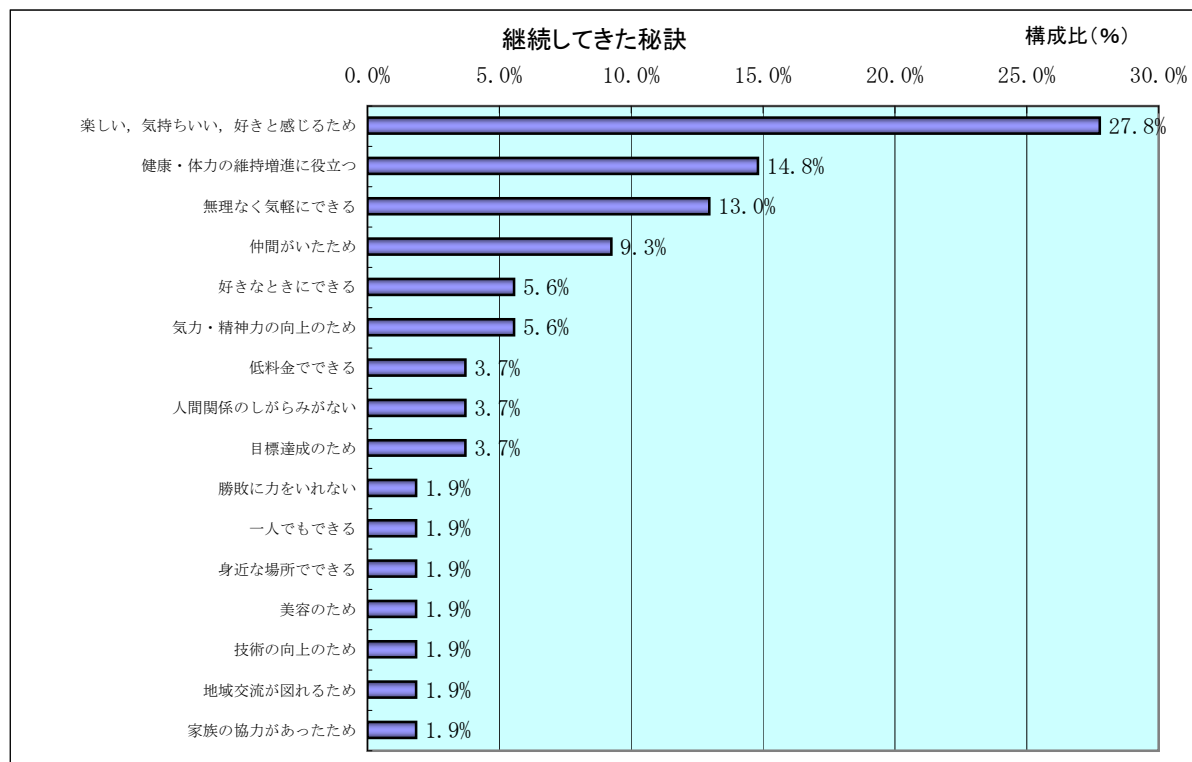
・「健康体力づくりのためやりたと思っていた（18.3%）」、「楽しみ・気晴らしとして（14.5%）」、「運動不足を感じていたから（13.0%）」が上位。自らが、自分の意思で主体的に始めている人が全体の6割を占めています。



(平成15年度市民アンケートモニター意識調査)

●スポーツをつづけるには？

・「楽しい、気持ちいい、好きと感ずるため」が3割近く、次いで、「健康・体力の維持増進に役立つ」（14.8%）、「無理なく気軽にできる」（13.0%）と続きます。



(平成15年度市民アンケートモニター意識調査)

☞ スポーツを始めるには、自らが主体的に、スポーツのために時間を生み出そうとする「意志（心）」と、場所や仲間、サークルなど、身近で気軽に参加できる「機会」があることなどが重要であることが伺えます。

☞ スポーツを続けていくためには、「スポーツが楽しい、体にいい」と感じられることや気軽に参加できる「機会」があることが重要であることが伺えます。

▶指導者について

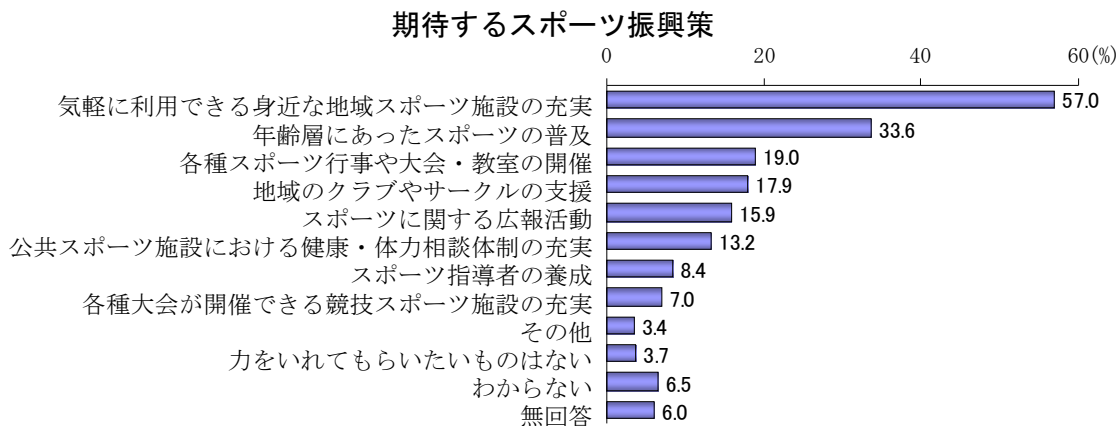
- ・教育懇談会では、参加した子ども達から、学校部活動の問題として、「勝利至上主義の傾向があり、練習が厳しすぎて行きたくなくなる。」や、「うまい人ばかりが練習できて、全ての子どもがスポーツ活動を十分に行えない。」という意見が上がっていました。
- ・また、市民アンケートモニター調査でも、「勝ち負けにこだわりすぎない」指導者を望む意見がありました。一方で、競技力の向上を望む方からは、専門指導者の派遣、指導者養成プログラムの策定を望む声などがありました。

☞ 健康・体力づくり志向、競技志向、楽しみ志向など、多様化するニーズに対応した質の高い指導者が求められています。

▶みなさんの期待するスポーツ振興策

●期待するスポーツ振興策

- ・今後、市の振興策で期待するものとして、「気軽に利用できる身近な地域スポーツ施設の充実」（57.0%）が過半数となり、次いで、「年齢層にあったスポーツの普及」（33.6%）と続いています。



（平成15年度市政世論調査）

●このほかに教育懇談会や市民アンケートモニター意識調査では、様々な貴重な意見をいただきました。主な意見は次のとおりです。

- ・広報うつのみやのスポーツ特集の充実などによる「スポーツをやろうというムードづくり」、「スポーツするのがあたりまえという雰囲気づくり」が必要
- ・スポーツ教室、大会、サークル、施設等の情報不足
- ・施設の利用時間・受付時間の拡大や利用手続きの電子化等、市民ニーズにあったスポーツ施設の運営

☞市民のみなさんは、次のようなスポーツ振興策を期待していることがわかりました。

【市民スポーツ活動の充実】

- ・年齢層にあったスポーツの普及
- ・各種スポーツ行事・教室の開催
- ・ムードづくりや情報提供等スポーツに関する広報の充実
- ・スポーツ指導者の充実

【競技スポーツの振興】

- ・各種スポーツ大会の開催

【スポーツ施設の充実】

- ・気軽に利用できる身近な地域スポーツ施設の充実
- ・スポーツ施設の機能充実等（健康・体力相談体制、利用時間等の拡大、利用手続きの電子化、競技スポーツへの対応等）